令和3年度 第2回健康づくり推進協議会 意見一覧

R4.1.21開催予定⇒書面開催

===	Е	Ţ
-71	_	F.
næv.	=	

- (1)(2)報告事項であったため、回答欄なし
- (3)令和4年度健康まえばし21ちらし・ポスターについて

意見・質問あり

10件

(4)健診受診勧奨標語について

意見・質問あり

3件

(5)地域職域連携推進協議会について

意見・質問あり

8件

ご意見

回答

ちらし: 見やすくなったと思います。休養・こころの健康 が黄色に白字なので、はっきりしない様に思います。ま た表面のQRコードから右側が全体的に白文字が見え づらいです。

ポスター: 黒はインパクトはあると思いますが、 紺とかの 方がよい様に思います。 (個人の意見なので、参考ま で)

ポスター:全体的に黒色が多く、目立ちにくいと思う。 下半分は、もう少し明るくした方が良い。

ポスターは全体的に黒面が多いように感じました。一番下のお問い合わせ欄とその上の絵は別の色にした方が良いかもしれません。

ちらし:「こころとからだ」のメカニズムが表現されています。 真の健康はまさに「こころとからだ」の調和ですね。 ちらしをきっかけにして「ストレス」「いらいら」の解消に つながると思います。 ちらしを医療機関の待合室にも置いて活用すると良いと思います。

ポスター:全体が黒のため、ネガティブになりがち。むしろ起床後「太陽の光」を浴びて笑顔から引き出されるポスターにされると「こころとからだ」のテーマが生きると感じました。

ちらし:修正され、見やすくなったように思われます。 ポスター:ちらしが説明的で文字が多いので、良い眠り に誘うようなイメージで、視覚に訴えるものが良いと思 う。

どちらも知名度が低すぎると思うので(保健センター内でしか見たことがない)存在を周知できる様な取り組みをした方が良いと思います。一般の方が出入りするような商店や場所にも掲示してほしい。

「健康づくりのための提案」を焦点化されていて、大変 分かりやすく見やすいです。小中学生でも、意識づけ ができそうです。

ポスター内のQRがアプリによっては読み込めないものがありました。 周りに白い枠をつけるとか、アドレスを併記するとか工夫が必要。

ちらし:朝食の効果③眠気防止を具体的で分かりやすい表現がいいのではと思いました。 ポスター:全体に黒色が多いので人の色を少しやわら

かい色にするのはいかがでしょうか。

8月の資料にも記してありますが「前橋市民の5人に1人」と40~74歳のデータのつながりに疑問があります。 前橋市民(40~74歳)の5人に1人と記載したほうが理解しやすい。 委員の皆さまのご意見を参考にできる限り表現や内容の修正をしました。色合いなどのデザインにつきましては印刷会社と相談しながら作成いたしました。今後も健康まえばし21の周知にご協力いただけるとありがたいです。ちらしの配布先、ポスターの掲示先は効果的に周知できるよう課内で再検討いたします。

(4)健診受診勧奨標語について

ご意見	回答
それぞれの応募作品に「検診受診」の大切さが伝わり、推薦するのが難しいですね。自身が検診して体験から生まれる思いが標語になると心が動かされると感じました。選んだ3作品は健康は我が身と共に家族の笑顔のためと思いました。	推薦により決定しました入賞作品を報告いたします。 最優秀賞「健康と 過信をせずに まず受診」 粕川町 角田 親俊さん 優秀賞「健診は 体と向き合う 点検日」 総社町 渡邉 奏さん 優秀賞「バースデー 年に一度の 健診デー」 上細井町 半田 美代子さん 優秀賞「さあ行こう 健康支える 健診に」 大手町 石埼 寛美さん
募集は「広報まえばし」「ホームページ」「Facebook」で、応募が21人は少ない気がします。関心を持ってもらえるより簡便な方法はないものでしょうか。	今後、実施の際は実施内容、方法も含め、検討していきたいと考えています。

(5)地域職域連携推進協議会について

ご意見	回 答
①令和4年度の新規事業、ダイエットサポート教室は、ウエルネス企業の方が対象ですか? ②働く世代の健康課題がよく理解できました。中小企業の経営者の方と共有して、健康経営に向けた取り組みが協働でできると良いと思いました。	①ダイエットサポート教室はウエルネス企業の方を基本に働く世代を対象としていく予定です。 ②ウエルネス企業の方々へのインタビューを通して企業との双方向の関係を築きながら健康経営の取組を拡げてまいります。
肥満者割合の増加や、高血圧所有者の多さが見られるようだが、様々な原因が複合的に絡んでいると思われる。 成人歯科健診の受診率が低下していることもあるため、歯と口の健康は、全身の健康と関連しているという事を市民に広く周知させていきたい。	「歯と口の健康」がテーマであった令和3年度健康まえばし21ちらしは各団体で周知させていただきました。今後も職域へはウエルネス通信を通して歯と口の健康と全身の健康との関連を伝えていきます。
コロナ禍による影響が見られ、より今までの課題とされていたことが、より顕著になっているようです。	コロナ禍の経年的な状況を把握し、健康課題を明ら かにし取り組んでいきたいと考えています。
自治体のがん検診と協会けんぽ実施の被扶養者向けの特定健診の受診率向上を図りたいと思います。(例として同時実施の期間を拡大するなど)。まえばしウエルネス企業と協会けんぽの生き活き事業所宣言との連携において、企業単位での要治療者に対する受診勧奨及び糖尿病の重症化予防対策事業を推進することにより、より効果的な事業展開が期待できると考えます。	今後も協会けんぽ様との連携を深め、まえばしウエルネス企業へ配信しているウエルネス通信等を通して、特定健診の受診率向上と糖尿病重症化予防に寄与して参りたいと考えております。
コロナ禍による健康状態の経年的な変化について課題や新事業等記載があっても良いかと思いました。	コロナ禍の経年的な状況を把握し、健康課題を明ら かにし取り組んでいきたいと考えています。
①「健康課題」深刻な問題が増えているので解決に向けての実行計画を地域職域連携推進協議会、分科会で深堀する必要を感じました。 ②働く世代向けの健康事業の取り組みは素晴らしい前進と感じました。特に6月に群馬県が開始した「GWAL K+」に6000人が登録され、健康寿命の延伸につながることを期待します。また、市役所職員共済会がウオーキング(1407名参加)を実践したことは手本となったと思いました。 ③まえばしウエルネス企業の独自の取組は素晴らしいです。こうした取組をもっと市民に広報してほしいです。「健康経営」を実践している会社を広報誌や広くアピール、多くの企業に紹介してほしいと思いました。	①健康課題の解決に向け議論を深められるよう職域の方々と検討してまいります。 ②「GWALK+」は働く世代での関心が広がるよう、健康に関する取組を市内事業所へ提案していきます。 ③まえばしウエルネス企業での取り組みに関しては、企業へのインタビューを通して取組の実際を把握し、紹介していく予定です。
働く世代の心身の健康を守るのは、家庭はもちろんのこと、1日の1/3以上の時間を費やす職場環境を整えることが大事と思われます。ウエルネス企業の種々の取組を生かしながら、健康教育を施せるウエルネス企業の増加が市民の健康維持のカギとなるのではないでしょうか。	現在協力していただいている保健推進員や食生活 改善推進員による地域や家庭からの健康に関する 取組の広がりに加え、ウエルネス企業を中心とした事 業所との関係性を深め、協働できる取組を提案して いきたいと考えています。
肥満、高血圧、脂肪の過剰に気をつける心がけが各 自必要だと思います。この値を市民の皆さんが熟読し てほしい。	生活習慣病予防について広報まえばし2月号にて特集をしました。今後も様々な周知の機会を活用して、無関心層にも浸透する啓発を実施していきたいと考えています。